

付度

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田 中 宏



広辞苑で「他人の心中をおしはかること、推察」と記されており、例として「相手の気持ちを付度する」とある。

会社で企画書を提出しプレゼンを行う場合、その決裁権者がどのような資料を要求するのか、またどのようなポイントでプレゼンをするのが効果的か付度しながら資料を作成する。仕事上の報告でも、上司によって報告は事前なのか、事後でもいいのか、その報告内容の重要性を鑑みながら報告のタイミングを付度する。彼氏彼女とのデートでも、食事をする場所やメニューも付度するであろう。私たちの仕事も同様であり、患者の状態はもちろん、主治医や依頼医の要望を付度し、撮影を追加する場合もある。他部門との円滑な連携をとるために、事前に調整をするなど付度をすることがある。

世の中、付度だらけである。むしろ、付度能力の高い人ほど仕事がスムーズに進むことが多いのではないかな。

さて、付度能力は元から有している人もいるが、社会人になって能力を身に付ける人、さらに磨きを掛ける人もいる。私は人との出会いが多い人は、付度能力が高いと考えている。それも同業者はもちろん、多種の異業種との出会いは、自分の人生を変えるきっかけにもなる。

私は経営者で構成される地元の商工会や法

人会に所属している。ある品物を購入しなければならないとき、どうせ買うなら量販店ではなく、地元法人会のお店から購入することがある。普段通りカード払いにしようとしたとき、できれば現金で支払ってほしいと言われ、理由を聞くと、カード決済の場合はお店側がカード会社に数%の手数料を支払う仕組みになっているという。それを知ってからは、知り合いの個人経営のお店での決済は現金で行うようにしている。そうすることにより、相手側はより感謝をしてくれるようになった。このような付度ができるようになったのも、法人会での出会いがあったからである。また役所や会社では、庁内の会議や社内の打ち合わせは午後にあることが多く、前日に依頼メールを送り、朝仕事が始まった直後にメールの内容について電話連絡を行うようにしている。そうすることで、私からの依頼事はその日から取り掛かることが可能であり、お互いが円滑に仕事を進めることができるということが分かった。これも銀行マンなど大手サラリーマンとの出会いがあったからこそ、学ぶことができた付度である。

業種により常識も習慣も異なり、多くの出会いを経験できる環境に身を置くことで、自分の常識が世の中の常識ではないということに気付くことができる。

付度能力をUPするために出会いを求めてみませんか。